

加入者の皆さんへ

そうだったのか!

健保組合のこと

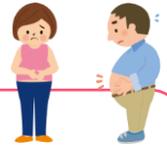
もっと知ってほしい健保組合のメリット

健保組合は自主・自立の保険者として、加入者に保険給付を行うだけでなく、加入者の健康づくり・疾病予防にも取り組み、世界に誇るべき国民皆保険制度のけん引役としての役割を担ってきました。

しかし、健保組合の財政状況は、高齢者医療への過重な拠出金負担でひっ迫しています。拠出金が保険料収入に占める割合は平均で4割を超え、財政悪化で解散を余儀なくされる健保組合も相次いでいます。

加入者のニーズや特徴を踏まえたきめ細かな保健事業を通じ、健康増進と医療費適正化を図るには、健保組合の健全な財政運営が大前提となります。事業主の皆さんには、健保組合のメリットをよく知っていただくとともに、高齢者医療費の負担方法を見直さなければ、健保組合が果たすべき役割を果たせなくなるという問題意識を共有していただきたいと思います。

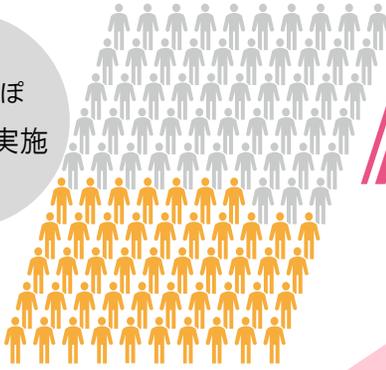
■ 健保組合は健康づくりサービスが充実！



メタボ健診について

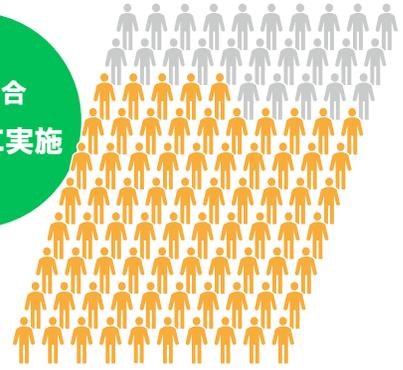
対象者を100人とすると……

協会けんぽ
47人に実施



約1.6倍
の差！

健保組合
75人に実施



このうち、
家族への実施率は……

約2倍の差！



さらに、リスク保有者への
保健指導の実施率は……

約3倍の差！



その他の健康づくりサービス

健保組合

(参考)協会けんぽ

■ がん検診



◎ 約90%の組合が実施！



・家族については実施なし

■ 歯科検診



○ 約30%の組合が実施！



■ 予防接種 (インフルエンザなど)



○ 約80%の組合が実施！



■ 常備薬(かぜ薬など)の 配布・あっせん



○ 約72%の組合が実施！



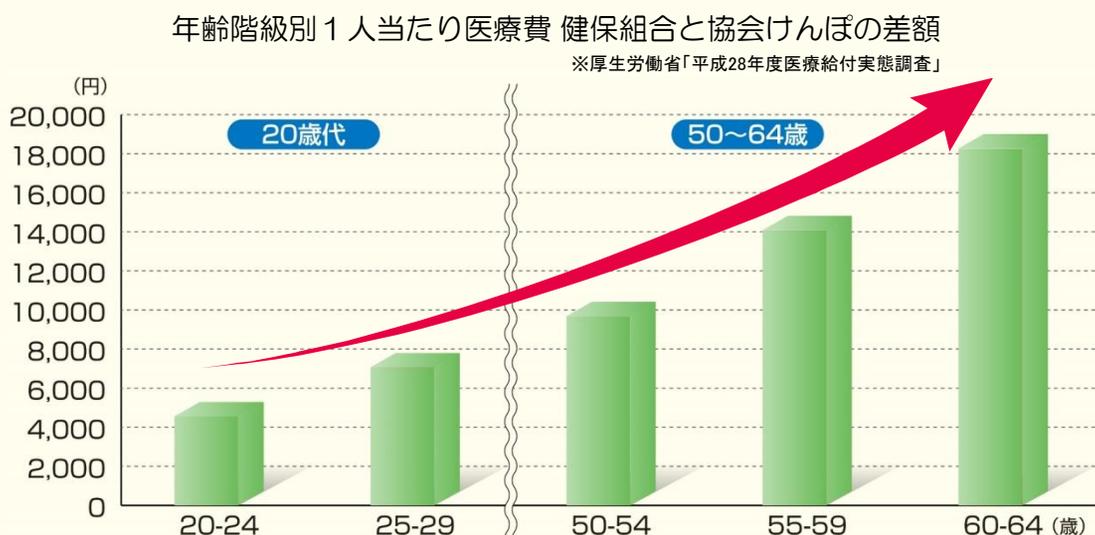
生活習慣病の引き金になるメタボリックシンドロームの対策だけでなく、加入者のニーズや特性に応じた様々なサービスを展開しています

■ 事実、健保組合の医療費は低いです！！

加入者1人当たりの年間医療費を比較すると……



年齢が高くなるにつれて医療費の差が拡大します



健保組合は企業と一緒に健康づくりに取り組んでいます！

従業員の健康づくりに積極的に取り組む企業の**9割以上**※が健保組合に加入しています

※経済産業省が所管する健康経営優良法人に認定された541法人のうち、495法人が健保組合に加入

健保組合と企業が連携・協力することで、健康づくりの効果がより大きくなります

平均的な規模（加入者1万人）の健保組合における1年間の医療給付費

健保組合と企業の連携度が「**高い**」 ⇒ 12億4655万円

健保組合と企業の連携度が「**低い**」 ⇒ 12億7523万円

約3000万円の差



要するに……

- ① 効果的な保健事業による加入者の健康保持・増進
- ② 労働生産性の向上、医療費の抑制
- ③ 健保組合の財政安定化、付加給付や保健事業の充実・強化
- ④ 企業業績と従業員の生活の質（QOL）の向上

多くの健保組合がこれを実践すれば…

労働生産性向上 と 医療費抑制

国の目標「健康寿命の延伸」も実現!!
「人生100年時代」に対応



しかし

現役世代の負担増に歯止めをかけないと実現できません！

超高齢社会に対応した医療保険制度の見直しがすぐに必要です

📌 健保組合・健保連が国に求めていること

◎ 健保組合の過重な拠出金負担の見直し

高齢者医療への拠出金の負担に上限を設けるなど、現役世代に過重な負担を課している拠出金の仕組みを見直す。